

平成 20 年 6 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 10 月 29 日

上場会社名 株式会社アイ・オー・データ機器 上場取引所 JQ  
 コード番号 6916 URL <http://www.iodata.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細野 昭雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部部長 IR 担当 (氏名) 山森 光久 TEL (076)260-3377

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 6 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 7 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 6 月期第 1 四半期	15,118	20.9	301	—	233	—	233	—
19 年 6 月期第 1 四半期	12,500	△20.6	△311	—	△307	—	△437	—
19 年 6 月期	61,765	△11.9	△44	—	111	—	△657	—

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 6 月期第 1 四半期	15	87	—	—
19 年 6 月期第 1 四半期	△29	77	—	—
19 年 6 月期	△44	73	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
20 年 6 月期第 1 四半期	32,855	19,974	60.0	1,341	65			
19 年 6 月期第 1 四半期	32,791	20,448	61.6	1,375	87			
19 年 6 月期	34,910	20,738	58.6	1,393	17			

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 6 月期第 1 四半期	544	△111	△632	6,153				
19 年 6 月期第 1 四半期	2,320	672	△2,625	4,300				
19 年 6 月期	4,554	317	△2,418	6,477				

2. 平成20年6月期の連結業績予想(平成19年7月1日～平成20年6月30日)

【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	31,800	6.8	300	—	250	—	230	—	15	66
通期	64,900	5.1	800	—	750	575.3	660	—	44	93

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う  
特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成19年8月20日に公表しました「平成19年6月期 決算短信」の業績予想を修正しております。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後起こりうる様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の具体的修正内容は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 業績予想に関する定性的情報等をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報等

当第1四半期におけるわが国経済は、雇用環境や堅調な個人消費等に支えられ、景気の回復基調は維持されているものの、一方で原材料価格の高騰やサブプライムローン問題に代表される米国経済低迷の長期化が懸念される等、不安材料を引きずった展開となりました。当社をとりまくパソコン業界におきましては、J E I T A (社団法人電子情報技術産業協会)が10月26日に発表した2007年7-9月のパソコンの国内出荷実績は4-6月同様、数量及び金額ともに前年同期を約24%下回る結果になっており、パソコン関連市場においても同様、非常に厳しいスタートになりました。

このような状況下、当企業グループは2期連続営業利益の赤字を受け「高コスト体質の是正」をテーマに積極的に戦略製品の開発・販売の強化に取り組んだ結果、法人需要については、景気の回復基調の中で中小企業を中心とした情報化に対する投資意欲は比較的順調に推移しており、S T B (セットトップボックス)の特注案件や大容量記憶装置等を中心に需要が増加しました。一方で個人需要においては、市場は企業間の競争激化で製品価格の下落傾向が相変わらず続いている中、ワイド型タイプの19インチ、22インチ製品といった大型の液晶表示装置や、320GB、500GBを中心としたハードディスクの需要が好調に推移し、売上高では前年同期と比較して20%以上伸長しております。

また、前年の第1四半期において大幅な赤字を計上した利益面では、売上高の増加に加え、製品全般を通して原価低減に努め、前年同期と比較して2%近い売上原価の改善に繋がっております。この結果、当第1四半期の業績につきましては、売上高151億18百万円(前年同期比20.9%増)、営業利益3億1百万円(前年同期は3億11百万円の営業損失)、経常利益2億33百万円(前年同期は3億7百万円の経常損失)、四半期純利益2億33百万円(前年同期は4億37百万円の純損失)となりました。

[製品分類別連結売上高]

(百万円未満切捨)

品目	平成20年6月期 第1四半期		平成19年6月期 第1四半期	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
増設メモリボード	2,696	17.8	2,478	19.8
ストレージ	4,330	28.6	3,708	29.7
液晶	3,123	20.7	3,268	26.2
周辺機器	2,760	18.3	2,169	17.3
特注製品	1,173	7.8	277	2.2
その他	1,033	6.8	598	4.8
合計	15,118	100.0	12,500	100.0

2. 連結財政状態に関する定性的情報等

(1) 財政状態の分析

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ20億55百万円減少し、328億55百万円となりました。主な増減は、流動資産では現金及び預金の減少3億23百万円、受取手形及び売掛金の減少9億58百万円、また、流動負債では支払手形及び買掛金の減少1億52百万円、短期借入金の減少5億42百万円、純資産では繰延ヘッジ損益の減少7億36百万円あります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ3億23百万円減少し、61億53百万円となりました。キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5億44百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2億33百万円と売上債権の減少9億58百万円による資金増加、仕入債務の増加2億25百万円と製品の安定供給を目的としたたな卸資産の増加6億40百万円による資金減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1億11百万円となりました。これは主に、有形無形固定資産を1億13百万円取得したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億32百万円となりました。これは主に、借入金の返済5億42百万円と、配当金の支払89百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報等

中間期及び通期の業績予想につきましては、平成19年8月20日に公表しました「平成19年6月期 決算短信」の内容を修正しました。詳細につきましては、平成19年10月29日付「平成20年6月期中間(連結・個別)業績予想の修正及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の会計基準、その他影響額が僅少なものにつき、簡便的な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約)四半期連結財務諸表  
 (1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年6月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年6月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成19年6月期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)				%	
I 流動資産					
1 現金及び預金	4,300	6,153	1,852		6,477
2 受取手形及び売掛金	12,337	11,675	△662		12,633
3 たな卸資産	7,383	7,119	△264		6,478
4 その他	2,006	1,416	△589		2,701
流動資産合計	26,028	26,364	336	1.3	28,291
II 固定資産					
有形固定資産	4,429	4,284	△145	△3.3	4,323
無形固定資産	538	480	△58	△10.8	523
投資その他の資産	1,795	1,725	△69	△3.9	1,772
固定資産合計	6,763	6,490	△272	△4.0	6,618
資産合計	32,791	32,855	63	0.2	34,910
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	9,359	10,199	839		10,351
2 短期借入金	500	199	△300		741
3 その他	1,756	1,567	△189		2,172
流動負債合計	11,616	11,965	348	3.0	13,266
II 固定負債					
1 退職給付引当金	167	184	17		171
2 リサイクル費用引当金	—	311	311		300
3 その他	559	419	△139		434
固定負債合計	726	915	189	26.0	906
負債合計	12,343	12,881	537	4.4	14,172
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	3,588	3,588	—	—	3,588
2 資本剰余金	4,308	4,308	—	—	4,308
3 利益剰余金	11,581	11,447	△133	△1.2	11,361
4 自己株式	△293	△293	△0	—	△293
株主資本合計	19,184	19,051	△133	△0.7	18,965
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	65	33	△32	△48.7	65
2 繰延ヘッジ損益	966	640	△325	△33.7	1,377
3 為替換算調整勘定	△5	△16	△11	—	57
評価・換算差額等合計	1,026	657	△369	△36.0	1,500
III 少数株主持分	236	265	28	12.2	272
純資産合計	20,448	19,974	△474	△2.3	20,738
負債、純資産合計	32,791	32,855	63	0.2	34,910

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年6月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年6月期 第1四半期末)	増減		(参考) 前期 平成19年6月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	12,500	15,118	2,618	20.9	61,765
II 売上原価	11,038	13,045	2,006	18.2	54,988
売上総利益	1,461	2,073	611	41.8	6,776
III 販売費及び一般管理費	1,773	1,771	△1	△0.1	6,821
営業利益又は 営業損失(△)	△311	301	613	—	△44
IV 営業外収益	118	52	△66	△56.0	512
V 営業外費用	115	120	5	4.9	356
経常利益又は 経常損失(△)	△307	233	541	—	111
VI 特別利益	153	—	△153	△100.0	156
VII 特別損失	73	0	△73	△99.9	260
税金等調整前四半期 純利益又は税金等調整前 四半期(当期)純損失(△)	△228	233	461	—	7
税金費用	204	△9	△214	—	635
少数株主利益	4	9	4	105.5	29
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失(△)	△437	233	670	—	△657

(3) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年6月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年6月期 第1四半期)	(参考)前期 (平成19年6月期)
区 分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期(当期)純損失(△)	△228	233	7
減価償却費	118	120	553
売上債権の減少額	2,321	958	2,015
たな卸資産の増加額	△952	△640	△47
仕入債務の増減額(△減少)	976	△225	1,993
その他	78	107	162
小 計	2,315	553	4,684
法人税等の支払額	△7	△20	△189
その他	11	11	58
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,320	544	4,554
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形無形固定資産の取得及び売却	652	△113	302
投資有価証券の取得及び売却	△0	0	△9
保険契約による支出	△0	—	△0
保険契約解約による収入	21	—	22
その他	△1	0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	672	△111	317
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(△減少)	△2,500	△542	△2,258
配当金の支払額	△113	△89	△147
その他	△12	△0	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,625	△632	△2,418
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	20	△124	110
V 現金及び現金同等物の増減額(△減少)	387	△323	2,564
VI 現金及び現金同等物の期首残高	3,913	6,477	3,913
VII 現金及び現金同等物の期末残高	4,300	6,153	6,477